

決算等審査特別委員会

奨学金返還支援事業について

貞宗

決算年度で初めてこの支援金の交付者が出たことになるが、8名の方が内定辞退や退職以外の原因で対象外となっている。65名の認定者のうち8名が対象外だということの詳細な内容を説明願う。

商業・雇用支援課長

8名の認定者が市内企業に入社後に6カ月以上仙台市に勤務していないため、支援金交付対象外とした。本事業の目的は地元企業の人材確保と地元定着の2つがあるが、地元定着と厳密に捉えられず補助対象外とした。

貞宗

素案段階の過去の議会答弁では、市外へ勤務していた場合でも再び仙台に戻り地域経済の担う人材として地元定着の可能性が高いから支援の対象にしたいとある。令和4年からはこの不備が解消されているが、過年度の対象外の方の支援を強く求める。

経済局長

決算年度から3年間は6カ月以内に市外へ転勤した場合は対象外になる、とご案内した上で募集をかけていた。令和4年度からは見直しを行い、6カ月の条件は無くなったが、遡及する場合は協力企業の負担もあり、解決すべき課題が多数ある。

貞宗

3年という事業期間では、現在の大学生しかこの支援事業の対象ではないということになる。現在の高校生もこの支援を見据えて進学、就職の判断ができるようにするべきだと考える。3年間ではなく通年へと事業期間の延長を求めるものだがいかがか。

経済局長

若者の地元定着を促進するために地元企業やそこに働く魅力を理解する機会を高校生の時期から設ける必要がある。事業期間については、就職率や離職率の改善などさまざま検証を行い、協力企業や制度利用者の意見を伺いながら検証していく。

お問い合わせ先

仙台市議会議員 貞宗けんじ事務所

〒982-0011 仙台市太白区長町3丁目8-32

TEL:022-796-0015 FAX:022-796-0016

Mail: contact@sadamune.com

発行：市民フォーラム仙台 編集：貞宗けんじ 〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1



市民フォーラム仙台 市議会活動報告



仙台市議会議員(太白区)

貞宗けんじ

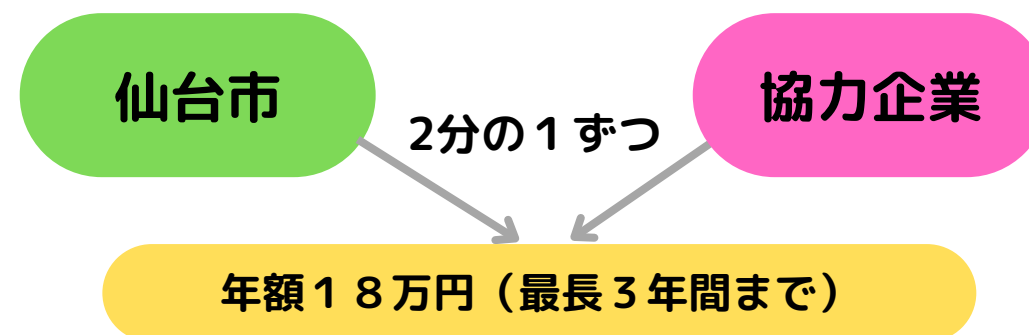
- 1986年 北海道釧路市生まれ
- 北海道小樽商科大学卒業後、NTT東日本入社
- 2019年 仙台市議会議員選挙当選(1期目)

令和4年第2回定例会、第3回定例会が開催され、新型コロナウイルスをはじめ、急激な円安や物価高に対する支援策等が数多く議論されました。私は第2回では、「データヘルス計画に基づく効果的な保健指導」「eスポーツの多分野への活用」「長町小投票所の混雑解消策」について、第3回では「地域ごみ出し支援事業の拡充」「奨学金返還支援事業の制度の不備」についてそれぞれ取り上げました。結果として7月の参議院議員選挙では、長町小学校の投票所の混雑が解消されたほか、奨学金返還事業に認定されたにも関わらず8名の方が支援が受けられなくなってしまった件についても**市が主導して解決に向かう旨の答弁**を引き出すことが出来ました。

ご意見等ございましたら、裏面の問い合わせ先よりお寄せください。

奨学金返還支援補助金について

仙台市で働きたいと思っている学生の多くが県外に就職している現状があるので、奨学金の返還を支援し、優秀な人材に仙台市で働いてもらうことを目的とした事業。



一般質問



eスポーツの福祉分野の活用について

貞宗

eスポーツは障がいがある方でも操作可能なフレックスコントローラーの開発が進み、障がいの有無によらず、誰もが参加できる共生社会づくりにつながると注目されており、引きこもりから脱するきっかけとしても注目されていて、有効活用すべき。

健康福祉局長

オンラインによる競技も可能であり、外出が困難な障がい者や引きこもり者にとっても他者との交流を図る上で有効なツールであると考えている。障がいのある方等の社会参加促進につながるよう、活用に向けた取組を進めていきたい。

貞宗

経済効果は数百億円になると試算されており、eスポーツを活用した地方活性化を推進することは、将来の財政状況や都市としての価値も変わる。本市の明確な所管部署はないが、これからどう関わっていくのか伺う。

文化観光局長

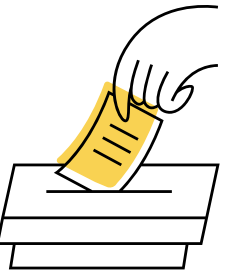
茨城国体の文化プログラムとして大会が開催されるなど、国内外で関心が高まっている状況は認識しているが、一方で世界保健機関がゲーム障害を新たな依存症と位置づけたほか、著作権の取扱いなど、様々な課題も指摘されている。こうした状況も踏まえ、新たなスポーツとしての可能性という視点を持ちながら、情報収集に努めてまいりたいと存じます。

市長

eスポーツは単なる娯楽にとどまらず、誰もが親しみそして楽しむことができるという特性を生かして、地方創生や教育、国際交流などの多様な分野への広がりが期待できる、今注目をされている分野の一つであると認識をしている。現在は産学官連携協定に基づいて、高齢者の健康維持やフレイル予防といった新たな分野へ活用していくことを目指して実施している。今後は財源創出の手法も勘案しながら、eスポーツの活用などを通じた高齢者のデジタルデバイド解消や新たなフレイル予防などにもつなげていくことができますよう、着実に取組を進めてまいりたい。

仙台市、NTT東日本、仙台eスポーツ協会、東北福祉大学で産学官連携協定を締結し、eスポーツを活用したフレイル予防の検証に取り組んでいます。

一般質問



長町小学校の投票所混雑について

貞宗

長町小の投票所は市内2番目に有権者が多く、昨年の衆議院議員選挙ではマスコミに報道される程の混雑で、近隣の交通にも多大な影響があった。最も有権者数が多い榴岡小ではほとんど混雑していないとのことだが、原因を説明願う。

選挙管理委員会事務局長

小選挙区と比例代表に加え最高裁国民審査と県知事選挙併せて4票を投じる選挙だったこともあるが、要因は投票所内のスペースを十分に活用できなかったことなど、名簿対照や投票用紙交付等の際に滞留が起きたことであると考えている。

貞宗

投開票日当日、私が並んでいる間も子どもを連れて人が列を離れたり高齢の方や妊婦の方も長時間の行列待ちは本当に辛そうだった。市をあげて投票率を上昇させる取組みをしているが、本末転倒である。こうした方への配慮を強く求める。

選挙管理委員会事務局長

高齢者や妊婦の方への配慮については、お困りの状況が見受けられる際は声がけし、介助が必要な場合には適切に対応することとしている。しかし混雑時には行き届かないので平日の期日前投票への案内をしていく。

貞宗

紙を使って人が名簿を確認し割り印をするなどという極めて前時代的なオペレーションは改善するべきだ。期日前投票システムと同様の受付システムを投開票日当日の投票所に導入し、混雑解消を抜本的に解決してはいかかが。

選挙管理委員会事務局長

受付システムを導入することにより、どの名簿対照の窓口でも受付が可能となり、本人確認作業が迅速になることから、混雑緩和に効果が見込まれる。また、投票時間終了後に各投票所の投票録の自動作成が可能となるなど、事務の効率化も期待できるため、今年度からこのシステムの導入作業を進めていく。

今年の参議院議員選挙にはシステムの導入は間に合わなかったが、投票所運営の工夫等で、長町小学校の投票所では混雑はかなり減少しました！